

# つうしん SPS通信



だい 10号 令和4年9月9日発行

おおさか ぶり つちゅうおうちょうかくし えん がっこう  
大阪府立中央聴覚支援学校

## ふしんしゃたいおうくんれん じっし 不審者対応訓練を実施しました!!

8月24日(水)本校の教職員のみで、大阪府東警察署の方々にご協力いただき不審者対応訓練を行

いました。今回の訓練では、教職員の役割は事前に決めず、その場でそれぞれの教職員が連携して

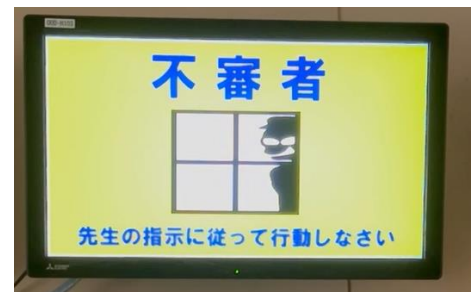
臨機応変な判断ができるかということを目標としました。

まず、不審者役と接触した教員が異変を感じ、常に携行している笛で緊急事態発生を周囲に知らせまし

た。すると、笛の音を聞きつけた教員が応援に駆けつけ、それと同時に全校放送と文字情報システムを活用

して、校内に不審者が侵入したことを全校に知らせました。110番通報してから約7分後に警察役が到着

し、不審者役を引き渡して訓練終了という流れでした。



【文字情報システム➡】

不審者役との対応にあたった教員が、さすまたや椅子などを活用し、不審者役と距離を取り、複数対応

していたところが印象的でした。

訓練後の警察署の方々からのご講評では、不審者対応のポイントをいくつか教えていただきました。

①不審者には、必ず複数で対応する。

②不審者の所持しているものに注意を払う。(凶器を複数所持している場合が多い。)

③さすまたは不審者と距離を取るために使う。



ちゅうがくぶ ぼうさいてちょうかつようげき  
中学部による防災手帳活用劇



がつついたち もく がっしぎょうしき ひ ちゅうがくぶ せいと ぼうさいてちょう かつようほうほう げき つう しょうかい  
9月1日(木)2学期始業式の日、中学部の生徒が防災手帳の活用方法について、劇を通じて紹介し

てくれました。

ほんこう こ おお でんしゃ りよう つうがく じしん じこ はっせい さい  
本校の子どもたちの多くは、電車やバスを利用して通学しています。地震や事故などが発生した際に、ど

のように周囲の状況を把握し自身の安全を確保できるかが課題です。

そこで、ぼうさいてちょう かつよう ひつだん つう じょうほう え たいせつ つた しょうがくぶ  
そこで、防災手帳を活用し、筆談を通じて情報を得るといことの大切さを伝えてくれました。小学部や

こうとうぶ こ しんけん げき み  
高等部の子どもたちも真剣に劇を見ていました。

ほんこう いっかんこう がくぶ と く ぜんこう きょうゆう ば こんご ぶ  
本校は、一貫校ですのでこういった学部での取り組みを全校で共有できる場を今後も増やしていきたいと

おも  
思います。

困ったAさんは防災手帳とペンを出して、別の人に話しかけ、手帳を見せながら筆談か手話が必要なことを伝えました。



Aさん 防災手帳とペンを出して、手帳をみせながら「すみません。駅員の方の声が聞き取れないのですが、なんとっているかわかりますか。」

